

**【ランナー世論調査 2024】  
「大会回帰」の傾向が明らかに！**

株式会社アールビーズ（東京都渋谷区 代表取締役社長：黒崎悠）は、「ランナー世論調査」（一般財団法人アールビーズスポーツ財団調べ）を RUNNET にて発表しました。

この調査は 2010 年より開始。2024 年度は 1 万 6,000 人を超える市民ランナーの回答から、トレーニング状況や消費動向、大会参加状況などの実態や変化を明らかにしています。

**<調査サマリー>**

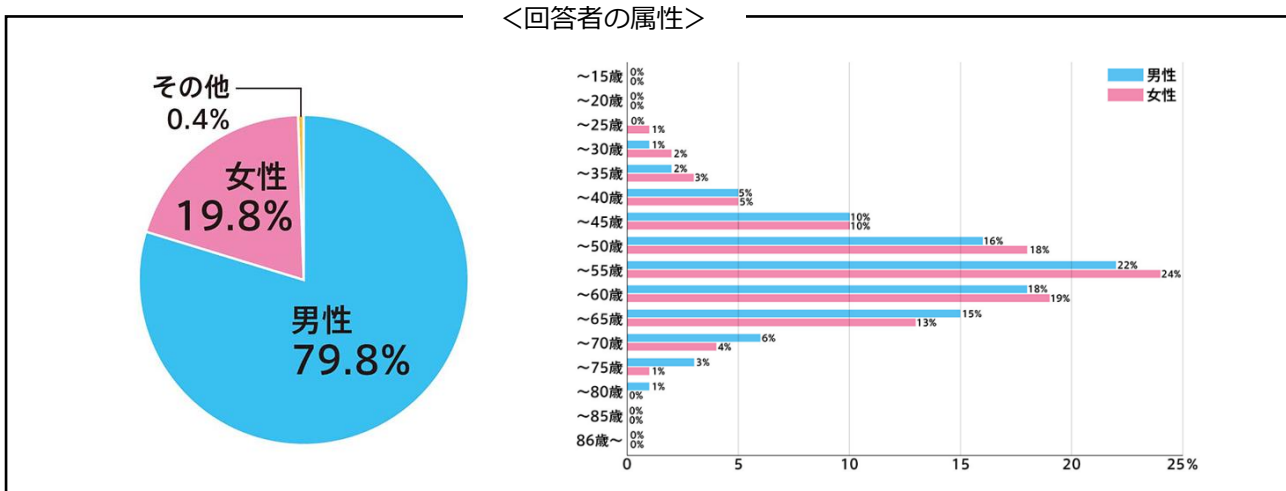
- ・ アンケート回答者の 9 割以上が大会に参加：  
コロナ禍による「大会離れ」から「大会回帰」の傾向が鮮明に
- ・ 記録更新を目指すランナーが増加：  
健康やストレス解消目的から大会を意識したランニングヘシフト
- ・ 大会での SDGs の浸透：  
マラソン大会においても、SDGs の取り組みが浸透し始めている

▼市民ランナーの「今」を調査した「ランナー世論調査 2024」の詳細結果はこちら

<https://runnet.jp/project/enquete/2024/>

**<調査概要>**

- ・ 調査内容：個人的属性/ランニング実施状況/ランニング以外のスポーツ実施状況・趣味/ランニングにかける金額/ランニンググッズ/ランニングイベント/SDGs/情報・その他
- ・ 調査対象：全国のランニング実践者（主に RUNNET ユーザー）
- ・ 調査期間：2024 年 10 月 14 日～11 月 7 日
- ・ 調査方法：インターネット調査
- ・ 回収結果：16,125 人（男性 12,866 人/女性 3,194 人/その他 65 人）

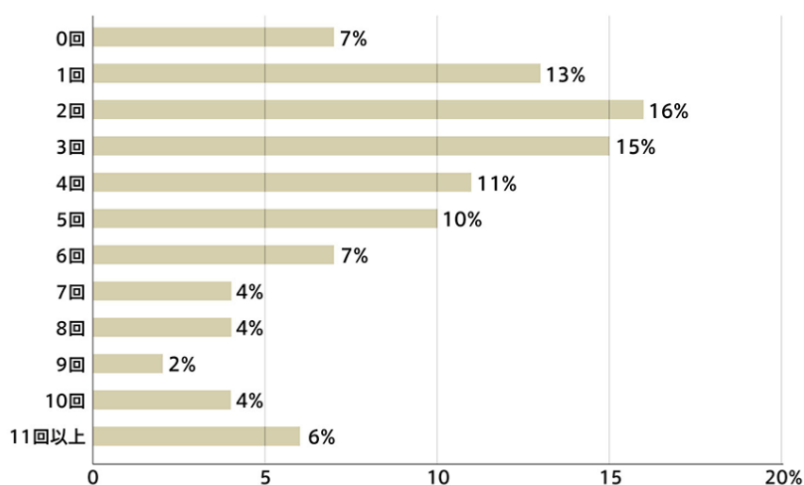


## アンケート回答者の9割以上が大会に参加

大会の参加回数について、前年39%あった「0回」が7%に大きく減少し、回答者の9割以上が2024年に1回以上何らかの大会に参加していることが分かりました。また、約8割が複数回（2～11回以上）大会に参加し、「2～3回」参加の割合は前年より2倍近く上昇しました。

コロナ禍直後、定員未達の大会が増え「ランナーの大会離れ」が社会的話題となっていました。2024年はランナーの大会回帰が進んでいることが明らかになりました。

### 2024年に参加した大会の回数

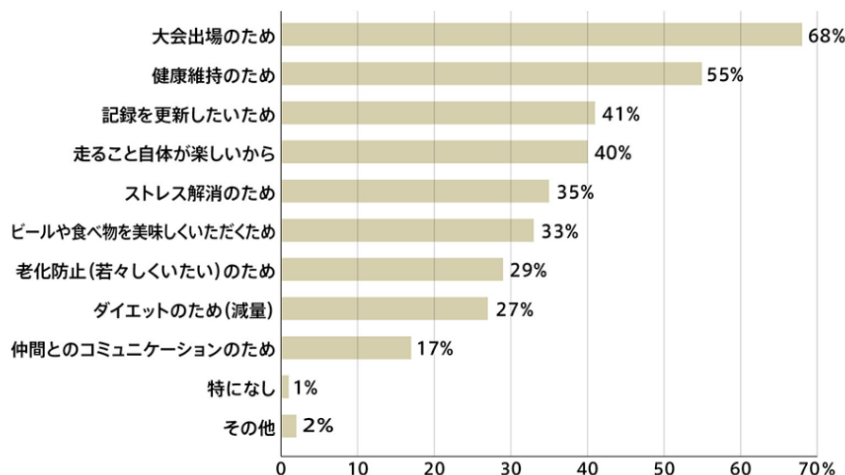


## 記録更新を目指すランナーが増加

ランニングを続けるモチベーションを問う設問では、回答者の68%が「大会出場のため」を選択（複数選択可）。

「健康維持のため」「走ること自体が楽しいから」「ストレス解消のため」といった回答が微減や前年並みになる中、「記録を更新したいため」は前年の38%から3ポイント上昇、「走ること自体が楽しいから」を上回り全体の3番目に浮上しました。大会参加をより意識してランニングに取り組むランナーの増加が伺えます。

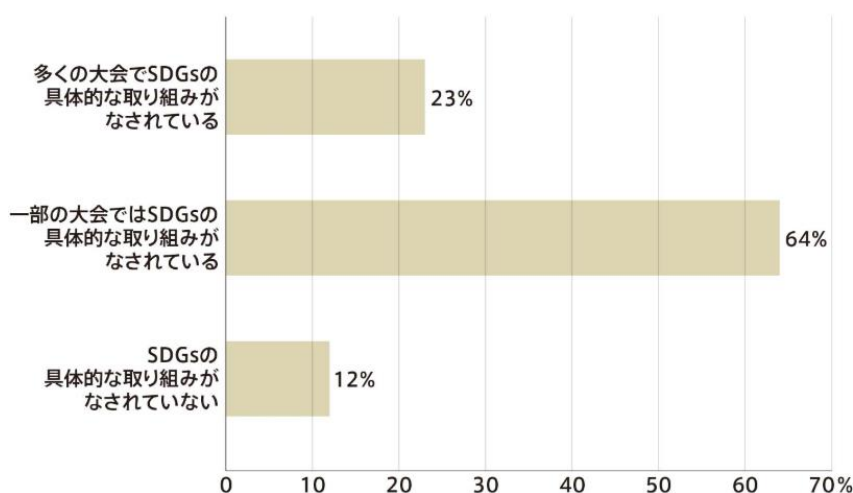
### ランニングを続けるモチベーション



## 大会でのSDGsの浸透

マラソン大会はSDGsに取り組んでいるかという設問では、回答者の87%が「多くの大会もしくは一部の大会でSDGsの具体的な取り組みがなされている」と回答し、前年の85%から2ポイント上昇しました。マイコップ制度やプログラミング、不要なランニングウェア回収などを実施する大会が増加しており、それがランナーにも浸透していると考えられます。

### マラソン大会は「SDGs(持続可能な開発目標)」に取り組んでいるか



#### ◇ランナー世論調査 2024

結果詳細は下記よりご確認ください

<https://runnet.jp/project/enquete/2024/>



#### ■株式会社アールビーズについて [会社 HP] <https://runners.co.jp/>

1975年に創立。翌年、国内初の市民ランニング雑誌「月刊ランナーズ」を創刊。1997年にランニング情報ポータルサイト「RUNNET」を開設。登録会員は約440万人で年間約1,600大会のエントリー募集を取り扱う。また、イベント事業（大会の計測・運営業務）や企業ソリューション事業、スポーツタウン事業を行う。創業時からの社是である「スポーツの実践を通じて、心豊かな人生を送る人々を応援する」を推進している。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アールビーズ 広報窓口

Email : [press@runners.co.jp](mailto:press@runners.co.jp)